

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network 11 / 1

2018 No.515

JART情報
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



第34回 日本診療放射線技師学術大会・ 第6回 アジア放射線治療シンポジウム 開催される

平成30年9月21日(金)から23日(日・祝)までの3日間、山口県 海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザにおいて第34回日本診療放射線技師学術大会・第6回アジア放射線治療シンポジウムが開催された。

公益社団法人日本診療放射線技師会の主催、一般社団法人山口県診療放射線技師会の共催により「国民と共にチーム医療を推進しよう 一時代の潮流を見極める」をテーマに掲げ、2,050人の参加登録、演題数は491演題となり、盛会に開催された。

初日は開会式が執り行われ、佐野副会長による開会宣言の後、中澤会長の鐘打による音が会場一杯に響き渡り、開会が告げられた。中澤会長による主催者あいさつに続き、山内大会長によるあいさつがあり、厚生労働省医政局長のあいさつ文が紹介された。さらに山口県知事、下関市長、一般社団法人山口県医師会会長からごあいさつを頂いた。続いて公益社団法人日本放射線技術学会代表理事、一般社団法人日本画像医療システム工業会会長、一般社団法人山口県薬剤師会会長、公益社団法人山口県看護協会会長、一般社団法人山口県臨床検査技師会、一般社団法人山口県臨床工学技士会および各国代表者などのご来賓の紹介があり、祝電が披露された。また50年永年勤続表彰が7人、30年永年勤続表彰が89人、学術奨励賞が8人、さらに社会貢献を賞賛する江間賞3人の出席があり、榮譽をたたえ、表彰された。そして開会式の閉会を



開会式の様子

熊代副会長が告げ、開会式は終了した。

機器展示会オープニングセレモニーでは、三輪副大会長の開会の辞から始まり、中澤会長、日本画像医療システム工業会の新延晶雄会長、山内大会長によるあいさつとテープカットが行われ、岩永実行委員長の開会の辞をもって、オープニングセレモニーは終了した。機器展示は日本画像医療システム工業会ならびに多くの協賛企業の協力の下、さまざまな展示が行われた。

この日の招待講演は、Senior Principal Radiation Therapist at the National University Cancer Institute, Singapore, Regional Director of ISRRRT for Asia and Australasia Region, Tan Chek Wee氏による「Development



テープカットの様子



開会の鐘の音



山内大会長のあいさつ



アジア各国のシンポジストの方々



示説会場



学術奨励賞受賞者の方々



江間賞受賞者の方々



招待講演(Tan Chek Wee氏)



招待講演(熊野正士氏)

of Radiotherapy in Asia」および放射線診断専門医(参議院議員)熊野正士氏による「医療被ばくの適正管理のあり方について」と題したご講演を頂いた。特別講演として、旭酒造株式会社 会長 桜井博志氏による「ピンチはチャンス! ~山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの~」、そして教育講演では、山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 准教授 藤井文武氏による「ロボット技術と医療・福祉」のご講演を頂いた。

情報交換会は、海峡メッセ下関のイベントホールで午後7時から開催された。中澤会長、岩永実行委員長のあいさつの後、日本放射線技術学会の小倉明夫代表理事、日本画像医療システム工業会の新延晶雄会長、そして多くの国会議員よりご祝辞を頂いた。新開英秀監査監事の乾杯の発声により祝宴の口火が切られた。ふぐ刺しや唐揚げなどのふぐを使った多くの料理や瓦そば、そして各都道府県から持ち寄られた日本酒が勢ぞろいし、参加者は交流を深めながら食事と酒を堪能した。また海外諸国とのプレゼント交換セレモニーや平家太鼓、じゃんけん大会などの余興により大いに盛り上がりを見せた。次期開催県である公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の田中会長による開催案内およびPR動画の放映の後、山口県診療放射線技師会の三輪会長のあいさつでお開きとなった。

は、川崎医科大学消化管内科学 准教授 松本啓志氏による「大腸CT検査の読影標準化に向けたトレーニングプログラム作成の試み:診療放射線技師の役割」および山口大学大学院医学系研究科 システムバイオインフォマティクス講座 教授 浅井義之氏による「医療におけるAIとの上手な付き合い方」のご講演が行われ、昨今の医療における新技術に触れた内容となった。そしてアジア放射線治療シンポジウムでは、各国からのシンポジストによる講演が行われた。さらにInternational Sessionが3つ、ARTS Sessionが2つに上り、海外から多くの発表が行われた。



教育講演(浅井義之氏)

最終日の23日(日・祝)は、公開フォーラムとして、下関市立しものせき水族館海響館 展示部魚類展示課主任 獣医師 進藤英朗氏による「水族館の命を守る~1gのフグから300kgのイルカまで~」および「よく知ろう・受けよう乳がん検診—あなたとあなたの家族のために—」と題したピンクリボンシンポジウムが行われた。

また教育講演として、山口大学大学院医学系研究科 放射線医学講座 教授 伊東克能氏による「造影MRIによる肝細胞癌の画像診断:知っておきたい画像所見と診断アルゴリズム」のご講演を頂いた。

今回の学術大会では、日放シンポジウム、学会企画、分科会企画、山口・放射線治療分科会共同企画、ブラッシュアップセミナー、そして多くの口述発表・示説発表が行われ、いずれも活発な討議・検討が繰り返された。ハンズオンセミナーでは、3D画像作成・撮影補助具作成について企画・開催された。また今回初の試みとなるスイーツセミナーが開催され、参加者は講演を聴講しながら山口名物のお菓子に舌鼓を打った。さらに23日は早朝6時からMorning Runが企画され、走りやすい気候の中、参加者たちは関門海峡の潮風を感じながら交流を深めた。



情報交換会の様子



日放シンポジウム(チーム医療)



ハンズオンセミナー(骨撮影補助具)

2日目は、中澤会長による「日本診療放射線技師会の現状と課題」と題した会長講演が行われた。特別講演では、松陰神社 名誉宮司・顧問 上田俊成氏による「吉田松陰がめざしたもの—松下村塾における塾生教育—」および帝京平成大学健康メディカル学部 鈴木哲司氏による「病院前医療体制におけるメディカルコントロール」のご講演を頂いた。教育講演

閉会式は、熊代副会長による開会の辞から始まり、示説発表における優秀賞として3演題が表彰された。中澤会長から主催者あいさつ、山内大会長からあいさつがあり、中澤会長により閉会を告げる鐘が鳴らされた。鐘は、山口県実行委員会から次期開催県である埼玉県実行委員会へ引き渡され、埼玉県診療放射線技師会 田中大会長からあいさつがあった。その後、山口県実行委員会に中澤会長から感謝状が授与され

た。佐野副会長による閉会の辞をもって、3日間にわたる学術大会は成功裏に幕を下ろした。

来年度の第35回日本診療放射線技師学術大会は、2019年

9月14日（土）から16日（月・祝）までの日程で、埼玉県の大宮ソニックシティで開催する予定である。

なお、講演内容の一部は会誌に掲載する予定である。

保守点検計画を策定すべき医療機器に CT・MRI装置が追加される

今般、厚生労働行政推進調査事業「中小医療機関向け医療機器保守点検のあり方に関する研究班」において、病院などのCT・MRI装置に係る保守点検指針として取りまとめられた「医療機関における放射線関連機器等の保守点検指針」が策定された。

これに伴い、平成30年6月12日付で、厚生労働省医政局地域医療計画課長および同経済課長の連名で「医療機器に係る安全管理のための体制確保に係る運用上の留意点について」（医政地発0612第1号および医政経発0612第1号）の通知が発出された。前通知を廃止し、今後、安全管理体制確保措置について、保守点検計画を策定すべき医療

機器にCTエックス線装置（医用X線CT装置）と磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）が追加された。

これは、本会が実施してきた業務実態調査報告や放射線機器管理士分科会の点検実施記録、関連3団体（JART・JSRT・JIRA）合同の安全の質管理指針・マニュアルおよびJIRAの装置引き渡しガイドラインなどを参考に取りまとめたものであり、これまで本会が厚生労働省に要望してきた保守点検の必要な放射線関連医療機器の重点追加6品目のうち、CTとMRIが追加された。

（文責：副会長 熊代正行）

第7回 医療放射線の適正管理に関する検討会 開催される

平成30年9月28日（金）、厚生労働省共用会議室において第7回目となる「医療放射線の適正管理に関する検討会」が開催された。本会からは小田正記理事が構成員として出席し、中澤靖夫会長、上島隆事務局長、木村由美専門職が随行者として参加した。

今回は（1）医療放射線の安全管理のための指針（案）について（2）医療放射線の施設設備の構造基準について——が審議された。

（1）については「医療放射線の安全管理のための指針の策定」に限定し審議を行った。主な内容として「医療放射線の安全管理に関する基本的考え方」は、ICRP Publication 103およびPublication 105を基本とする。また「従事者に対する研修に関する基本方針」では、診療放射線技師においても患者への情報提供に関する習熟度は、「他の職種に対して指導・助言を行うことができる程度に包括的に習熟する」へと変更していただくことを要望した。

なお、指針（案）のアウトラインは、1. 医療放射線の安全管理に関する基本的考え方 2. 医療放射線に係る安全管

理のための従事者に対する研修に関する基本方針 3. 医療放射線の安全管理に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 4. 放射線の過剰被ばくその他放射線診療に関する事例発生時の対応に関する基本方針 5. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針——となり、次回検討会で具体的な提案がなされる予定である。

（2）については、小田理事より「エックス線診療室内における操作装置の設置について～現状の問題点～」として、医療法施行規則第30条の4、および医薬発第188号に関する撮影室内でのエックス線照射の適用除外に関する説明を行った。また事務局より「医療放射線の施設設備の構造基準について」の説明があった。今後は、具体的に線量などの測定を行うとともに継続審議となった。

これまでの検討会の内容については、厚生労働省のホームページをご確認いただきたい。

（<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-isei.html?tid=436723>）

平成30年度 診療放射線技師実習施設 指導者等養成講習会 開催される

平成30年9月7日(金)から9日(日)までの3日間、本会事務所会議室において平成30年度診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会がP-MET(公益財団法人医療研修推進財団)と本会との共催により行われた。この講習会は、臨床実習を引き受ける医療機関勤務の診療放射線技師に対して、実習指導者としての資質の向上に努めた上で臨床実習を効果的に実施し、これから診療放射線技師を目指す学生の質を向上させることを目的に開催している。現在、厚生労働省内で診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会が開催されており、その検討会において臨床実習指導者の要件が議論されている。そのため昨年度から本講習会は東日本と西日本それぞれ2回、計4回実施しており、本年度も280人の診療放射線技師が受講予定である。

医療の高度化・複雑化、国民の価値観の多様化や医療に対する権利意識の高まりなどに伴い、医療専門職を取り巻く状況は大きく変化している。そのため医療人としての根源が倫理感や人間力であることから、ヒューマンスキルが重要視さ

れている。初めて医療現場に立ち入る臨床実習に、放射線業務・技術とともに医療人としての基本姿勢、コミュニケーション技術を学ぶことが医療人教育のスタートである。

来年度以降の講習会は、診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会で検討された講習会に変更する予定である。

※P-METとは

医療に関する各分野を横断的かつ統合的に捉え、国民が願う良質な医療を提供するため、医療従事者を対象とした研修システムの開発とその実施、関係団体が実施する研修の支援および関係情報の収集・提供を行うことを目的として、平成7年10月に厚生大臣の許可を受けて設立された。厚生労働省の指導の下、医師および医療従事者に対する各種の研修・講習会、医療研修情報提供システムによる医療研修情報の収集や提供などの事業、さらに医師臨床研修マッチング事業や、診療放射線技師・理学療法士・作業療法士など、医療関係職種を対象とした実習施設指導者講習会などを行い、卒後研修の充実に貢献している。

平成30年度 Ai (死亡時画像診断) 症例報告会 開催される

平成30年8月25日(土)、本会事務所講義室においてAi症例報告会が開催された。本報告会は、Aiにおける検査技術の向上と読影補助の研鑽に役立てていただきたいという目的で、Ai分科会が企画したものである。

検討した事例は4症例で、1例ずつ症例提示が行われ、会場の参加者が気になる画像所見や撮影技術の問題点などについて読影補助コメントを述べる、いわゆる参加型のスタイルで行われた。その後、症例提供者より自施設での解剖・病理診断、画像診断の結果を報告していただき、最後にコメンテーターによる読影とそのポイント解説が行われた。

参加人数は予定よりも少ない23人であったが、その分内容の濃い症例報告会となった。また参加者に対して行ったアンケート(無記名)では大半が満足されており、全員が次回も参加したいという回答であった。その期待に応えられるよ



う、来年度の開催に向けて準備を進める所存である。

最後に、コメンテーターとしてご協力いただいたAi情報センター代表理事 山本正二先生に心より感謝申し上げます。

(文責: Ai分科会 会長 樋口清孝)

「放射線機器管理地域研修会（兵庫県）」 開催報告

放射線機器管理士分科会 中村 泰彦



神戸大学病院

平成30年9月16日（日）、神戸大学医学部附属病院 第一会議室で「放射線機器管理地域研修会（兵庫県）」を開催しました。参加者は37人でありました。

今回の研修会では、「医療機器における諸法令について」と題して、関係法令の解説と機器管理の重要性、CT・造影剤注入装置・一般撮影装置・MRI装置のモダリティーごとの機器管理の方法と実践、その課題について講義を行いました。

平成19年の医療法改正に伴い、医療機器の安全管理が強化されましたが、いまだ完全な保守管理体制の確立に至っていないのが現状です。さらに今年6月には、厚生労働省医政局通知によって、医療機器の保守点検について新たにCT・MRI装置が保守点検計画を策定すべき医療機器に加わり、ますます診療放射線技師が中心となって医療機器の安全管理を実践することが重要となってきましたが、中には「機器の保



会場風景

守についてどのようにしたらいいのか分からない」といった声も散見されます。昨今、多くの放射線関連機器に関する医療事故が発生しておりますが、その際には必ず保守点検や日

常点検の実施状況、および安全使用のための研修会が実施されていたかが問題となっており、このような研修会を機に、私たち診療放射線技師自らの手で放射線関連機器の安全管理を実践し、安全・安心な医療の提供につながればと祈念しております。

今回の研修会が、明日からの機器管理実践の一助となりましたら幸いです。

なお、平成31年度も継続して開催してまいります。詳細は追ってJART会誌・ホームページでご案内させていただきますので、多くの診療放射線技師の皆さまのご参加をお願い致します。

最後に、放射線関連機器における故障・事故調査を毎年継続して行っており、近年、ご提供いただけるデータが不足しております。少しでも多くのデータをご提供いただき信頼ある調査報告となるよう、ご協力をお願い致します。



講演風景



終了証授与式

国家試験日程決まる

第71回診療放射線技師国家試験の施行について、平成30年9月3日付で厚生労働省から報告があった。

試験期日は平成31年2月21日（木）、試験地は北海道・宮城県・東京都・愛知県・大阪府・広島県・香川県・福岡県である。試験科目は基礎医学大要・放射線生物学（放射線衛生学を含む）・放射線物理学・放射化学・医用工学・診療画像機器学・エックス線撮影技術学・診療画像検査学・画像工学・医用画像情報学・放射線計測学・核医学検査技術学・放射線

治療技術学・放射線安全管理学である。合格発表は平成31年3月25日（月）午後2時である。なお、試験に関する手続きおよび問い合わせ先は、以下の通りである。

診療放射線技師国家試験運営本部事務所

〒130-0022

東京都墨田区江東橋2-2-3 倉持ビルディング第2ビル6階

TEL：03-6659-9687

平成29年度 永年勤続表彰者

平成30年度 第34回日本診療放射線技師学術大会開会式で表彰式が執り行われました。
おめでとうございます。

50年勤続表彰



- | | | | | | | |
|--|---------------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------------------------|---|-----------------------------|
| 北海道
長尾 皓司
福田 儀三郎
小野 常美
笹川 幹晴
吉川 忠義
志賀浦 保雄 | 青森県
神 行雄 | 山形県
鈴木 榮 | 新潟県
関谷 昌四
本望 鏢一 | 長野県
丸山 二三男 | 三重県
南川 悟茂
青木 茂 | 香川県
林 賢一
木下 正司 |
| 宮城県
熱海 悦子
松本 幸信 | 茨城県
小谷 善伸 | 東京都
大野 好夫
中村 健 | 石川県
杉村 光洋 | 徳島県
西原 良子
中村 世紀
柏木 尚之 | 福岡県
泉 隆秀
新開 英諒
森本 諒門
岸田 太門 | |
- 計 30人

30年勤続表彰



- | | | |
|--|---|---------------|
| 北海道
村上 佳宏
川村 力也
黒田 直夫
川原 章夫
桐木 洋 | 金澤 高佐村
澤野 々上
令由 正秀
人佳 幹典
佐松 山工
藤尾 口藤
澄公 宇地
子弘 進一
根田 田田
羽太 山増
田田 田田
正洋 裕安
昭一 樹彦
東小 牟川
堂牟 田川
剛 英正
三学 之住
窪 鳴稲
田海 田田
田 修徳
誠 剛悟
鈴永 高橋 | 信克
昭昭
敦 |
|--|---|---------------|

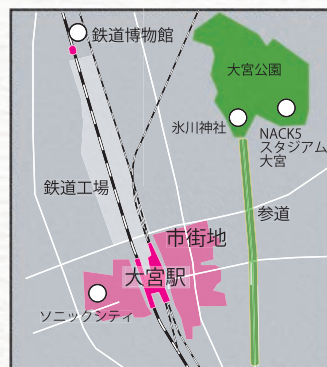
INFORMATION

第2回 第35回日本診療放射線技師学会 埼玉への道

埼玉県診療放射線技師会 編集情報委員会より

大宮という街

大宮は、埼玉県の代表的な街の一つです。平成13年に浦和市・大宮市・与野市の3市が合併し「さいたま市」となり、現在は「さいたま市大宮区」と表記されています。名前の由来は“大いなる宮居”とたたえられた「氷川神社」の総本社がこの地にあることから来ています。社へ続く参道には、約700本のケヤキを中心とした樹木が南北にわたり植えられ、日本一長い参道として知られています。現在の主祭神は3柱。縁結びをつかさどる夫婦神と商売繁盛をつかさどる子どもの神が祭られており、縁結びや安産祈願・商売繁盛にご利益がある神社です。



本殿隣の敷地(大宮公園内)には、Jリーグチーム“大宮アルディージャ”のホームグラウンド「NACK5スタジアム大宮」があり、試合の日は参拝客にサポーターが加わり多くの人でにぎわいます。ちなみに大宮アルディージャの「Ardija」は、スペイン語のardilla(リス)が由来です。JR大宮駅東口前には旧大宮市のマスコットキャラクター「こりすのトトちゃん」の像が皆さまを迎えてくれます。



さて、大宮は“鉄道”によって大きく発展した“鉄道の街”です。ところが、もともと上野～熊谷をつなぐ線路(現在の高崎線)が開通した当時(明治16年)は駅すらありませんでした。駅の完成はその2年後、東北線が引かれる際に地域住民の誘致努力



で作られました。また大宮駅は東京へ人や物資を運ぶだけでなく、操車場や車両整備の拠点として鉄道工場も併設され、街が発展する礎になりました。その後、新幹線が開通、大宮は東京・上越・東北の分岐地として結果的に人々が集まり、街は急激に発展を遂げました。

JR大宮駅の1駅先には「鉄道博物館」があり、鉄道に関する貴重な資料、巨大ジオラマの中を走る鉄道模型・運転シミュレーターなど、鉄道ファンだけでなく、大人から子どもまで十分楽しめる施設です。大会期間の合間に一度立ち寄ってはいかがでしょうか。

話は大宮駅周辺に戻り“食”について少しほど。大宮は県内有数の繁華街です。駅周辺はラーメン激戦区であり、人気店では行列も見られます。またレストランや居酒屋の他、埼玉ご当地B級グルメ&ソウルフードの店など、名店から下町的なものまで豊富な飲食店があり、昼夜にぎわいを見せています。ぜひグルメマップ片手に、大宮の“食”を楽しんでみてはいかがでしょうか? “食”につきましては、次号「埼玉B級グルメ&ソウルフード」で、もう少しご紹介します。



第35回 The 35th
Japan Conference of Radiological Technologists(JCRT)

日本診療放射線技師学術大会

国民と共にチーム医療を推進しよう

Let's promote team medical care with the nation

彩の国から未来へ

From Sainokuni to the future

会期
Date

2019年9月14日(土)~16日(月・祝)
September 14(Sat) -16(Mon) , 2019

会場
Venue

大宮ソニックシティ
Omiya Sonic City

会長
President

中澤 靖夫 (公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長)
Yasuo Nakazawa (Japan Association of Radiological Technologists)

大会長
Chairman

田中 宏 (公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 会長)
Hiroshi Tanaka (Saitama Association of Radiological Technologists)

主催
Host

公益社団法人日本診療放射線技師会
Japan Association of Radiological Technologists

共催
Cosponsor

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
Saitama Association of Radiological Technologists

後援
Support

厚生労働省(予定)
Ministry of Health, Labour and Welfare
埼玉県(予定)
Saitama Prefecture
さいたま市教育委員会(予定)
Saitama City Board of Education

運営事務局
Congress Secretariat

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39
TEL:048-664-2728 対応時間平日(月~金曜日) 9:00~15:00
Saitama Association of Radiological Technologists Saitama Prefecture Saitama City Kitaku Miyaharacho 2-51-39
Phone:+81-48-664-2728 Correspondence time Weekday (Monday - Friday) 9:00~15:00

平成30年度 第1回認定資格試験 実施される

平成30年8月26日(日)、本会が主催する平成30年度第1回認定資格試験が全国2会場で同時に実施された。西日本会場は前回と同じAP大阪梅田茶屋町であるが、東日本会場は今回、帝京平成大学中野キャンパスを使用させていただいた。

本会では、現在5つの資格について認定している。これら認定資格は、それぞれの専門知識や技能に必要な教育を受け、本会が実施する認定試験に合格し、その能力が認められた者に与えられる資格である。なお、これら認定資格は医療技術の進歩に伴い最新の知識や技能を身に付ける必要があるため、5年ごとの更新制度を採用している。

今回、X線CT国際認定試験、超音波(腹部)国際認定試験も、東日本会場において併せて実施された。

今回の受験者数は、両会場合わせて次の通りであった。

第14回医療画像情報精度管理士認定試験 62人、第35回放射線管理士認定試験 173人、第37回放射線機器管理士認定試験 138人、第24回臨床実習指導教員認定試験 86人、第8回放射線被ばく相談員認定試験 26人、X線CT国際認定試験 3人、超音波(腹部)国際認定試験 2人

平成30年度第2回認定資格試験は、平成31年1月27日(日)に実施される予定である。

2018年度 放友会 開催される

平成30年9月20日(木)、第34回学術大会開催地である下関市内の「ふぐ・長州料理 KATSUMOTO」で、新開英秀監事、小川利政監事の下、放友会が開催された。出席者は本会から中澤会長、佐野副会長、熊代副会長をはじめ、本会役員19人、本会元役員6人のOB、そして第34回学術大会(山口県)の山内大会長、三輪副大会長の2人と第35回学術大会(埼玉県)の田中大会長と城處副実行委員長2人の29人であった。

初めに中澤会長よりあいさつがあり、放友会世話人の新開先生による乾杯で会が始まった。その後、OBの先生方からお言葉を頂戴し、現役役員と共に親睦が図られた。

「放友会」は、32年前の昭和61年6月、本会主催の催し物などの際に元役員らが一堂に会して旧交を温め、末永く親交を図ることを目的として開催決定されたものといわれている。発起人は、当時の本会監事 岩佐誠先生、藤野哲三先生、竹内稔先生であり、現会長を名誉会長とすることとしている。

その後は、慣例として現監事が世話人になり開催されてきた。

今後とも元役員の方の皆さま方におかれましてはご出席いただき、現役員を叱咤激励いただきますようお願い申し上げます。

来年度は埼玉県の大宮で開催を予定しており、本会元役員諸先輩方の多くのご出席をお待ちしております。



JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

International Day of Radiology 2018

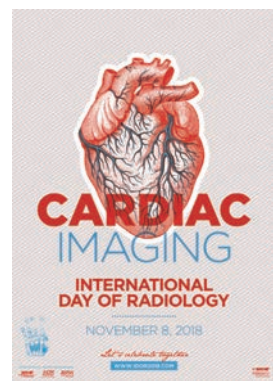
2018年11月8日(木)の国際放射線医学の日を祝して、International Day of Radiology 2018が開催されます。

International Day of Radiology (IDoR)は、2012年に欧州放射線学会(ESR)、北米放射線学会(RSNA)、アメリカ放射線学会(ACR)の共同主導で開始されました。放射線医療が安全な患者のケアに貢献する価値をより深く認識し、放射線科医と診療放射線技師がチーム医療として果たす重要な役割を認識するために開催される年次イベントです。

詳細は、IDoRのウェブサイトまたはFacebookページをご覧ください。

■ ウェブサイト : <https://www.internationaldayofradiology.com>

■ facebookページ : <https://www.facebook.com/internationaldayofradiology/>



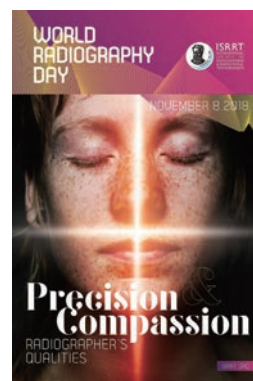
INFORMATION

World Radiography Day 2018

世界放射線技師会(ISRRT: International Society of Radiographers & Radiological Technologists)では、11月8日を人体解剖学の画像に特化した医療専門家を支持する日としてWorld Radiography Dayを祝しています。

詳細は、ISRRTのウェブサイトをご覧ください。

■ ウェブサイト : <https://www.isrrt.org/world-radiography-day>



INFORMATION

緑の森にて

その日は久しぶりの東京での会議。朝一番の飛行機で羽田に到着、あまり知らない東京駅の近辺で格安のモーニングセットを楽しみ、余裕を持って会場へ向かう。

いつも地上の道を歩くが、この日は気分を変えて、地下鉄を降りるとそのまま地下道を歩くことにした。会議場のあるビル付近の出口を目指していたが、途中で案内表示が途切れたため適当にビルの中に入り地上に出ることにした。ビルの地下1階から地上に上がる場所を探していると、ふっと森の中にエスカレーターが見えた。地下の庭園から地上に上られるようだった。初夏の光を浴びて、森の緑、そしてエスカレーターの手すりの緑が輝いて見えた。

よし、あそこから地上に上がろう。そう思って見ていると、1人の男性が両手を手すりに置いて上がり終えていた。朝の光のせいなのか、エスカレーターの手すりはとても輝いて見える。

シリーズ連載
series serialization

五感 — five senses

普段エスカレーターを利用するとき、ほとんど手すりに触れることはないが、触ってみたくなり、左手で触れてみた。まぶしいばかりに磨き上げられた触感が伝わったと同時に、下りのエスカレーターに先ほど上がっていたと思われる男性が降りてきた。背筋を伸ばし、手すりをクリーニングしながら降りてきた。東京で見ず知らずの方にあいさつしたり、声を掛けたりすることはまずないのだが、エスカレーターですれ違いざまに「きれいですね!」と思わず声を掛けた。すかさず男性から「ありがとうございます!」の返答があった。1秒もない、瞬間の出会い、言葉、その後の余韻。この道を選んでよかったと思った。偶然だったが、必然だったのかもしれない。誇りを持った生き方をされているのであろうと、背中から背中を感じることができた。人生でこのようなことが経験できるのは、五感を超えた何かがあるのではと思う、今日、この頃である。(文責: 廣木昭則)

「平成30年度診療放射線技師給与の動向に関する調査」 実施に伴うご協力依頼について(お願い)

INFORMATION

本調査は、本会が定期的に行っていることから、医療機関での処遇決定にも極めて重要な役割を果たしてきております。

本年度の調査は、公的・民間を問わず診療放射線技師の給与の動向の調査を実施します。

本調査の趣旨をご理解の上、下記の要領で実施しますので、多くの皆さまのご協力を頂きますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

- **調査名**：平成30年度診療放射線技師給与の動向に関する調査
- **対象者**：医療施設に勤務し、放射線診療業務を行っている方です。
- **調査期間**：平成30年10月4日(木)～平成30年12月31日(月)
- **調査方法**：Webブラウザを利用した入力形式です。PC・スマートフォンから入力可能です。

<https://goo.gl/forms/C0PW0it8xWo9XPqY2> (個人用)

<https://goo.gl/forms/09iRpXbM9XZ3MewK2> (施設用)

■ 生涯学習カウント付与について

本調査にご協力いただきました会員には、社会活動カウントとして10カウントが付与されます。ただし、著しく調査への回答が少ないなど、有効回答を得られない場合はカウント付与の対象となりません。

■ 調査情報の取り扱いについて

本調査により得られた情報は、本会による診療放射線技師給与の動向調査のみに利用されるものであり、個人を特定する内容での公表は致しません。

また調査結果は日本診療放射線技師会誌に掲載されます。

■ 本調査に関するお問い合わせ

公益社団法人日本診療放射線技師会 調査委員会(給与調査担当)

e-mail: 2018kyuyo@jart.or.jp

11月・12月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 放射線被ばく相談員フォローアップセミナー：大阪 12月16日(日)

ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。